

# 未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員  
指導課 特別指導員

岩波 英一

## 「理科室のおじさん」を尋ねて

日立理科クラブ・古山文治さん



手づくりの実験器具

### その7 日立市立塙山小学校

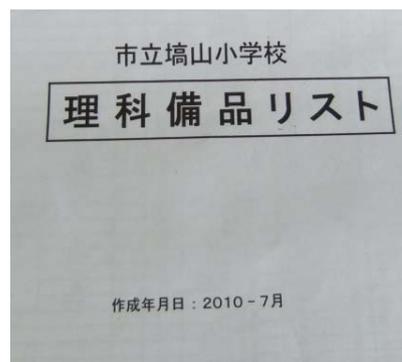
塙山小学校の理科室のおじさん・古山文治さんを尋ねました。古山さんは新潟県出身で、阿賀野川流域の農村地帯で過ごしたそうです。幼い頃に父親が亡くなり、中学・高校時代は、家族の大黒柱的存在で、田んぼや畑の作業に従事していたということです。「当時は、田作りから始まり、稲作のノウハウを覚えて米作りに一生懸命でしたよ。」と、当時の様子を振り返っていました。現役時代は、日立製日立工場のプラント管理部門に従事し、仕事の関係で海外にはよく出かけていたとのこと。特に、中国では半年滞在し、中国人の気質や生活ぶりが、いい意味でも悪い意味でもよく分かったそうです。中でも、中国人のバイタリティーには驚かされることしばしばあったそうです。

理科室準備室でお話を聞いていたのですが、実験器具がきれいに整頓されているのが目に留まりました。また、手作りの実験器具がたくさん置いてあって、「この実験

装置は、子どもたちに評判が良く、これは、こんな原理の装置です。」と、一つ一つ楽しそうに、子どもたちに示していたことを思い出しながら説明をしていました。塙山小での子どもたちとの関わりが、とても楽しく満足していることがお話の様子から強く伝わってきたのが印象的でした。

塙山小に赴任して始めたことは理科備品リスト作成で、一つ一つ備品を確認しながら作成していったそうです。また、理科室に置いてあった夏休みの理科の自由研究の作品を見ていて、子どもたちがどんな分野にどんな方法で研究しているのかに興味を示し、作品の一覧をまとめているということでした。「これをまとめて、自由研究の進め方や夏休み前のアドバイスのポイントになったらいいかなと思っています。」と来年への取り組みを語っていました。

古山さんは、「趣味は、読書とマラソンですかね。」と、「サクラロードレース」10Kmの部に、10年近く連続出場している気力・体力あふれる「理科室のおじさん」でした。



湧き水を利用した蛍の生息池

塙山小・自然の森

問い合わせ先

日立市郷土博物館 岩波 英一

TEL 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp